

普及現地情報

秋津地区で大豆栽培講習会を開催（熊本）

熊本市東区秋津地区で、令和元年6月14日、大豆の栽培講習会を行いました。当地区では熊本地震の発生以降、水稲作付が行えないため大豆の作付を行っており、連作障害の発生を懸念しています。講習会には約50名の農家の方が参加され、農研機構からは連作による土壌や生育への影響について、JA熊本市からは雑草や病害虫の防除について説明がなされ、当課からは大豆の栽培管理上のポイントを説明しました。農家の方は熱心に話を聞かれ、「効果的な雑草防除方法について」など活発な質疑応答もありました。

本年は7月始め頃から播種の準備が始まり、多くのほ場で耕起が終わり、8日頃から播種が始まっています。播種は、播種時期と天候さらに土壌条件を勘案して、栽植密度や播種深度を決定するよう指導しています。また、収量・品質向上のため、今後の生育や病虫害発生状況を見ながら、関係機関と連携して指導を行っていきます。



大豆栽培講習会の様子

種類：③普及活動（途中経過）

関連する普及課題名：需要に即した水田経営の確立

① 地震被災地域における大豆の安定生産

HP掲載可否：可

連絡先

県央広域本部 農業普及・振興課

地域農業支援班 山口紗知